



かいご げんば 介護の現場から



ケアマネになって1年目の時に担当したAさんを時々思い出す。認知症を患い老健施設に入所中で、家族へのDVがあって帰宅出来ず、別施設へ入所する事が決まって担当する事になった。当時は経験が浅いため自分に務まるのか不安で仕方なかった。先輩ケアマネにも意見をもらいながら、まずは関係作りが重要と考え、本人や家族との対話の機会を多く持つことを心がけた。たわいのない会話をしながら話がしやすくなるような雰囲気づくりに努めると、利用者からは生活歴や自分の強みや弱みなどを話してくれるようになった。話の機会を増やすことで、安心できる相手と思ってもらえたのではないかと。時間が経つにつれて新しい施設にも慣れ、家族に対するDVがあった人とは思えないくらい穏やかな日を過ごすようになった。家族の面会も少しずつ増えていった。Aさんと家族との関係構築は私だけでなく施設の職員も対応してくれた(全ての課題が解決できたわけではありませんが)ので、Aさんにとって施設が安心できる環境になったのではないかとと思う。ケアマネ6年目の現在、Aさんと家族との関わりを通して学んだ関係を構築することの重要性を決して忘れることなく、これからも日々精進していきたいと思っている。

(なずなケアプランセンター：K主任ケアマネ)

